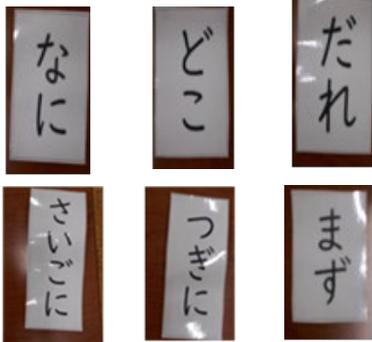


見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることの指導 ～絵や写真を見て文を考える事例～			
学部・教科	小学部・国語科	事例コード	2207
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> 小学部5学年3名 自分から積極的に周囲に話し掛けることができる。また相手の話を聞いてその大体的内容を理解することができる。 読むこと、書くことについては、平仮名、片仮名、促音、拗音などほぼ正確に書いたり読んだりすることができる。また、2語から3語文の簡単な作文が書ける。 		
単元(題材)名	『文をつくろう』		
学習指導要領の内容	国語科／小学部3段階 [知識及び技能] イ(ア) [思考力、判断力、表現力等] B書くことーイ、ウ		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。【[知] イ(ア)】 <small>* 本事例集では、学習指導要領の目標及び内容に基づいた表現に編集しています。</small>	見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えることができる。【[思] Bイ】 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。【[思] Bウ】	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。【小学部3段階ウ】
単元(題材)の計画	1 誰が、何をしていたか、絵や写真を見て、誰が、どこで、何をしていたのかの文を書く。 2 自分が体験した出来事をもとに、誰が、どこで、何をしていたのかの文を書く。 3 話を聞きながら、「まず」、「つぎに」、「さいごに」の順に写真を並べた上で、文を書く。 4 自分が体験した出来事をもとに、「まず」、「つぎに」、「さいごに」を使った文を書く。		
指導の実際	(単元計画1～2) <ul style="list-style-type: none"> 絵カードや写真を見ながら、誰が、どこで、何をしたかを整理して簡単な文を書く練習をした。その際に、「だれ」、「どこ」、「なに」の文字カードを使用して、観点ごとに内容を整理してから文を書くようにした。 「～が、～で、～した。」の作文の型を参考にしながら、主語や目的語、述語を意識して文を書くことができた。 (単元計画3～4) <ul style="list-style-type: none"> 教師の話聞き取り、出来事の順に写真や絵カード並べ替える学習をした。その際、「まず」、「つぎに」、「さいごに」の文字カードを使用して、文の順序を意識できるようにした。 単元のまとめでは、自分の体験した出来事について、「まず」「つぎに」「さいごに」を使い、事柄の順序を意識して文を書くことができた。 		



使用した絵カード



文字カード